

女性防火クラブ 活動事例集

仙台市女性防火クラブ連絡協議会
仙台市消防局



はじめに

女性防火クラブは、地域の防火防災に関するボランティア活動を行っている団体です。

活動は火災の予防に向けて自分自身での学びのほか地域に火災予防意識を浸透させるための呼びかけなどが中心で、仙台市消防局と連携して行っています。

ここ数年、クラブ活動への参加者が減少傾向にありますが、「地域のために何かしたい」と考える方も少なからずいらっしゃるのではないかと感じています。

この冊子は、私たちクラブ員が各地区における活動を相互に知ること、活動の活性化を図るほか、地域などに対して女性防火クラブの活動をご紹介します、そうしたねらいでつくりました。

この冊子を通じて、クラブの活動に対する地域からの理解が深まり、今以上に活動しやすい環境が実現するとともに地域貢献に興味をお持ちの方々によってクラブ員が増加し、地域の防火防災力がさらに向上されていくことを期待します。

CONTENTS

1	女性防火クラブとは	2
2	仙台市女性防火クラブ連絡協議会の構成	3
3	東日本大震災で果たした役割	3
4	女性防火クラブの活動事例	4
活動事例 1	『我が家と地域から火事を出さない』 ● 4 ～地域から発信する顔の見える防火活動～	
活動事例 2	『住宅火災の被害軽減を目指して』 ● 5 ～住宅用火災警報器の普及啓発の取り組み～	
活動事例 3	『自分の命は自分で守る知識と心を育成』 ● 5 - 6 ～命の大切さを伝える～	
活動事例 4	『火災予防の願いを込めて』 ● 6 - 7 ～手作りから生まれる火災予防啓発～	
活動事例 5	『後世へ語り継ぐ』 ～声で伝える震災の記憶～ ● 7 - 8	
活動事例 6	『誰でも簡単・おいしい「サバ・メシ」の普及啓発』 ● 8 ～災害時であっても「食」でひと時の笑顔を!!～	
活動事例 7	『私たちの地域は私たちが守る』 ● 9 ～知識の習得・地域と連携した訓練への参加～	
5	地域防災力のさらなる向上のために	10
6	より魅力的なクラブを目指して、支援メンバーとともに	11
7	クラブ員の声	13

1

女性防火クラブとは

(1) 誕生の背景

昭和37年4月6日、自治省(現総務省)消防庁から、全国的に増加していた住宅火災の防火対策として、当時、家庭で火を取り扱う機会の多かった主婦に対する火災予防に関する知識と防火意識の啓蒙の必要性が通知されたことにより、婦人防火クラブ(現女性防火クラブ)が誕生しています。

(2) 仙台市における結成の経過

昭和38年1月、市東部の蒲生地区で死者をともし住宅火災が発生し、この火災を契機に「婦人消防隊」が地域住民の総意で発足しているほか、この時期に前後して「萩の台町内会」「車通町内会」「旅籠町町内会」「葉山町町内会」の4町内会で婦人防火クラブが結成されています。その後、昭和53年の宮城県沖地震を契機に、全市的に婦人防火クラブの結成が促進されました。

このようにして結成されてきた女性防火クラブでは「我が家と地域から火事を出さない、出させない」を合言葉に火災予防を目的とした活動を行っているほか、近年は地震や風水害といった自然災害への対応についても身に付けるなど、地域における防火防災の分野で活躍すべく、活動の幅を広げています。

女性防火クラブへの名称変更

仙台市婦人防火クラブ連絡協議会は、クラブの更なる魅力向上を目的に、令和5年4月1日より名称を仙台市女性防火クラブ連絡協議会に変更しています。



2

仙台市女性防火クラブ連絡協議会の構成

仙台市女性防火クラブ連絡協議会は、市内の6つの地区（青葉、宮城野、若林、太白、泉、宮城）から構成されています。主に町内会単位で結成されたクラブは、地域ごとに支部、さらには地区としてグループをつくり連携して活動しています。

仙台市女性防火クラブ連絡協議会

青葉地区				宮城野地区				若林地区								太白地区						泉地区				宮城地区								
国見支部	片平支部	小松島支部	荒巻支部	宮城野支部	原町支部	岩切支部	鶴谷支部	港支	高砂支部	七郷支部	南小泉支部	南小泉北部支部	大和支部	南材支部	若林支部	荒町支部	連坊支部	六郷支部	沖野支部	西多賀支部	長町支部	郡山支部	中田支部	八木山支部	秋保支部	生出支部	中央支部	南光台支部	松陵支部	高森支部	根白石支部	第一支部	第二支部	第三支部

3

東日本大震災で果たした役割



写真提供：仙台市

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、クラブ員自らも被災しながら、それぞれの地域における避難所での活動など、それまでのクラブ活動で得た知識や経験を大いに発揮するとともに、震災後は、災害時でも手軽に準備できるサバイバル飯、いわゆるサバ・メシの作り方の紹介や、被災経験や当時の思いを後世に語り継ぐ朗読活動など、震災での経験を糧にその活動の幅をさらに広げられました。

女性防火クラブの活動事例

活動事例

1

『我が家と地域から 火事を出さない』

～地域から発信する顔の見える防火活動～

街頭防火 キャンペーン

火災予防運動期間を中心に、店舗や駅前等の街頭で火災予防を呼び掛けるキャンペーンを行っています。市民の方から質問を受けたり、私たちの話を熱心に聞いてくれたりすると、地域に必要とされていることを実感でき、やりがいを感じられる活動の一つです。



防火キャンペーンで市民に火災予防を伝える
(上から泉地区、宮城野地区、宮城地区、太白地区、青葉地区)



横断幕を地域に掲げる(若林地区)

地域に掲げる火災予防

地域に火災予防ののぼり旗や横断幕を掲げる活動もしています。

地域住民の方々の目につく場所に掲げることで、みなさんが日常的に火災予防を意識することを期待して行っています。

活動事例

2

『住宅火災の被害軽減を目指して』

～住宅用火災警報器の普及啓発の取り組み～



消防署が市民センターで開催した防火講話内で住宅用火災警報器について説明

(青葉地区)

住宅用火災警報器の普及啓発は、長年にわたり力を入れている活動の一つで、設置・点検・交換の必要性について、あらゆる機会を通して呼びかけています。

住宅用火災警報器が、命を守ってくれる大切な機器であるということが一人でも多くの方に伝わるよう、地域に根差した地道な啓発を行うとともに、関心をもっていただけるよう工夫し啓発に取り組んでいます。



地域のキャラクターの活用

住宅用火災警報器に関する4コマ漫画を作成し、ポケットティッシュやマスクのデザインとして活用。このほかにも同キャラクターで火災予防運動のポスターを作成した。(青葉地区)

活動事例

3

『自分の命は自分で守る知識と心を育成』

～命の大切さを伝える～

地震や火災などのとき、こども達が自分で考え行動できるよう、幼稚園や小学校で防火防災の指導・育成を行っています。

若林地区の「がんばろう！仙台っ子キャンペーン」では、地震防災のクリアファイルを区内の小学1年生へ渡し、地震のときの対処法を日ごろから

若林区内の1年生に配付しているクリアファイル▶



児童への防火防災指導(若林地区)

確認できるようにしています。

他にも、災害時に身を守る方法を学ぶ「防災ダック」、親子を対象にした手持ち花火教室、山火事防止の防火標語板の作成・掲示など、様々な取り組みを通して、こども達に「自分の命は自分で守る」ことを伝えています。

熱心に私達の話聞いてくれるこども達の姿に、やりがいを感じるとともに、こども達からの「ありがとう」の声、私たちの活動の糧となっています。



親子を対象にした「手持ち花火教室」
(太白地区)



がんばろう！仙台っ子キャンペーンで児童に
クリアファイルを渡す様子(若林地区)



園児への防火防災指導(太白地区)

活動事例

4

『火災予防の 願いを込めて』

～手作りから生まれる火災予防啓発～

手作りの温かさを大切にした活動もあります。

そのひとつが、若林地区で行っているミニ纏(まとい)作りです。纏は江戸時代に町火消しが用いた旗印(シンボル)で、女性防火クラブのミニ纏は、色紙やペットボトルのキャップなど身近なもので作り、火災予防のお守りとして市民に配付しているほか、ワークショップ形式でミニ纏づくりを広げる活動も行っています。

また、七夕期間に併せて、火災予防にちなんだ七夕飾りを手作りし消防署に掲げる「七夕プロジェクト」も夏恒例の取り組みです。太白地区では、園児や高校生と一緒に七夕飾りを作る際に、地域の伝統工芸品であ



ミニ纏(色紙やペットボトルの
キャップで作る・若林地区)

る和紙を使うなど、地域との繋がりを大切にしています。

プロジェクトは、コロナ禍によって対面での火災予防啓発が難しくなったことで始めた取り組みですが、今ではそれを心待ちにされる方も多く、地域の活性化に繋がることも期待し行っています。



ワークショップでのミニ纏づくり(若林地区)



願いを込めた七夕飾り(泉地区)



消防署庁舎にゆれる七夕飾り(太白地区)



七夕飾りづくりの様子(太白地区)

活動事例

5

『後世へ語り継ぐ』

～声で伝える震災の記憶～

東日本大震災による被害が大きかった地域の一つでもある仙台市沿岸部の宮城野地区。その宮城野地区では独自の取り組みとして「仙台市女性防火クラブみやぎの朗読会」を行っています。この活動は、女性防火クラブの方々などから寄せられた体験談を文集としてまとめ「震災の悲惨さや教訓を風化させることなく後世へ語り継ぐ」目的で、様々な機会を通じて朗読会を開催しているものです。

体験談を寄せていただいた方の心に寄り添い、一人でも多くの方々にその想いを届けられるよう、使命感をもって活動しています。



震災の体験を伝える「仙台市女性防火クラブみやぎの朗読会」(宮城野地区)



小学校で開催した朗読会の様子(宮城野地区)

活動事例

6

『誰でも簡単・おいしい 「サバ・メシ」の普及啓発』

～災害時であっても「食」でひと時の笑顔を!!～



和やかな雰囲気アイデアを出しあいながらの
「サバ・メシ」作り(泉地区)



サバ・メシ「豆腐ひじきハンバーグ」
豆腐や麩、ツナ缶などで作る。麩の代わりに
乾パンを使ってもよい。(泉地区)

「サバ・メシ」をご存じですか? 「サバ・メシ」とは「サバイバル飯」の略称で、災害が発生し、ライフラインが途絶えた時に、家庭にあるものや非常食をアレンジして作る食事のことです。

泉地区は、東日本大震災での経験から、「食」で命を繋ぐ「サバ・メシ」の普及に力を入れています。非常食というと、一般的にはアルファ米や乾パンをイメージする方が多いと思いますが、長期の避難生活などを想定して、災害時でも「食」で笑顔とひと時の安らぎが得られるよう、「簡単・おいしい」をテーマにオリジナルレシピを考案しています。

レシピ集もまとめていて、イベント等を通じて市民に配布したり、研修会を開催したりしています。

活動事例

7

『私たちの地域は 私たちが守る』

～知識の習得・地域と連携した訓練への参加～

私たちは、定期的に消防署での研修会に参加しているほか、市内外の防火防災施設へ赴く移動研修なども開催し、防火防災の普及啓発に必要な知識の向上を図っています。

また、クラブ員同士の交流を深め、防火防災に関する情報はもちろん地域の情報についても意見交換を行い、活動の円滑化・活性化を図ることに努めています。

さらに、仙台市以外の女性防火クラブ員との意見交換の場もあるなど、外の刺激をうけて新たな視点を持つことも忘れません。

こうして得た知識や技術は、町内会や消防団、仙台市地域防災リーダー（以下「SBL」という。）と連携・協力して実践する地域の防災訓練の場で発揮するなど地域防災力を支え高める役割を担っています。



宮城県消防学校で開催した防火研修会



文化財防火デーにおける市内の神社での
消防訓練に参加するクラブ員(青葉地区)



横須賀市防火・防災クラブ運営協議会、
三浦市婦人防火クラブとの意見交換会



応急手当訓練を行うクラブ員(宮城地区)

地域防災力のさらなる向上のために

～地域団体との連携～

私たち女性防火クラブの目的は、地域の防火防災力を向上させることです。

地域の防火防災力をさらに向上させるためには、女性防火クラブの母体となる町内会へのはたらきかけや、消防団、SBLなどとの連携が効果的です。

町内会
(自主防災組織)

消防団

女性防火
クラブ

S B L

民生委員

避難所運営
委員会

社会福祉
協議会

市民センター
児童館
PTA

〈連携のメリット〉

- ◎活動の範囲(場所)が広がる
- ◎活動の種類やメニューが増え、活発な活動につながる
- ◎そうした活動を通じて、地域住民へのPRにつながる

地域防災力のさらなる向上



地域の防災訓練に参加する女性防火クラブ。多様な視点で円滑な運営を支える。
(青葉地区・上、宮城野地区・泉地区・下)

より魅力的なクラブを目指して、 支援メンバーとともに

私たちが以前から抱えているクラブ員の高齢化や成り手不足、活動の負担といった様々な課題を解決するために、女性防火クラブを支援するメンバーを募集し、大学生が加入してくれました。

支援メンバーは、私たちと一緒に消防署の火災予防啓発イベントのお手伝いや子ども達や地域の方々への防火防災指導を行っています。

支援メンバーと一緒に行う活動は、新鮮で、新しい気づきも多く、充実したものとなっています。

今後も支援メンバーとともに市民の皆様へ「火災予防と命の大切さ」を呼び掛けてまいります。パワーアップした仙台市女性防火クラブにご期待ください！



実際に
活動している
学生の声



防火の大切さを知るイベントが多く、沢山の知識を得ることができます。何より、ボランティア活動を通して、女性防火クラブや消防局の方々、地域の方々に関わる機会が増え、楽しみながら防火について活動することができます。

学生・Kさん

学生クラブチームの第一期のメンバーとして、より多くの人に女性防火クラブの魅力を伝える為にはどうしたら良いのかと考えたり、防火防災のイベントに参加させていただいたり新しいことに取り組むことができ本当に楽しいです！また、様々な年代の方と一緒に活動できることにも魅力を感じています。これからの活動もとても楽しみです。

学生・Tさん

女性防火クラブ員・女性防火クラブ支援メンバー 募集中！

「火災のない安心安全な暮らしを守りたい」「地域の役に立ちたい」とお考えの方！
私たちと一緒に活動しませんか？

- 生活に役立つ防火防災に関する知識を習得できます。
- また、消防署の職員の方々と親しくなれます！
- 「こどもが消防車や救急車が大好き！」「防火防災に関する知識を身につけたい！」「就職活動に役立てたい！」等々、「少し興味がある」「話だけ聞いてみようかな」と思った方は、ぜひお気軽にお近くの消防署へお問合せください。

※問い合わせ先は、本冊子裏面に記載しています

参加 対象

女性防火クラブ：仙台市内の町内会に所属していて、かつ所属の町内会に女性防火クラブがある方

支援メンバー：仙台市内の大学に在学している大学生（男女問わず）
仙台市にお住いの女性（町内会に所属していなくてもOK）
仙台市内の企業に勤務している女性

あなたはどちらのタイプ？

Aタイプ	✓
ボランティア活動に力を入れたい	☐
時間の融通がききやすいので、定期的にボランティア活動に参加できる	☐
主体的に活動がしたい	☐
火災予防広報を幅広く経験してみたい	☐

Bタイプ	✓
気軽にボランティア活動がしたい	☐
隙間時間でボランティア活動がしたい （例：仕事や育児、学校の都合で頻繁に参加できないけれど、スケジュールの都合が合った活動に参加したい）	☐
補佐的に活動がしたい	☐
得意分野でのみ活動したい （例：こどもが好きなのでこども向けイベントのみ参加したい！など）	☐

Aタイプが多い方は……



消防署と連携し、積極的に
地域貢献する 女性防火クラブ員



Bタイプが多い方は……

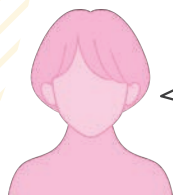


自分のスケジュールや都合に合わせて
参加できる 支援メンバー





クラブ員の声

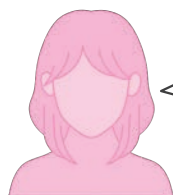


地域のコミュニティに参加することにより、たくさんの仲間が増え、人と人との繋がりや活動する楽しさを知ることができました。

【青葉地区・50代】

支部の活動を主軸として地区と市の活動、そして、県との連携があり、そこにはそれぞれ大切な仲間がいます。東日本大震災を乗り越えてきた私たちクラブ員は地域力と実践力が自慢です。

【宮城野地区・70代】

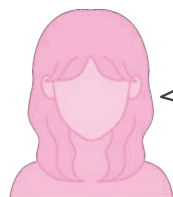
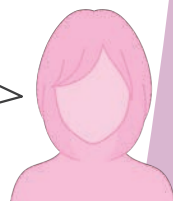


クラブの活動において得られた地域の方とのつながりや情報は、自分の家族はもちろん、地域全体の防火・減災につながっていると思います。

【若林地区・30代】

活動に参加したことで、防火知識はもちろん普段知り得ない地域の情報まで得ることができ、クラブは私にとって「楽しく、為になる」繋がり場になっています。

【太白地区・60代】



女性防火クラブをきっかけに地域の方々との関わりが増え、自分も地域の役に立てているのだと実感できうれしかったです。

【泉地区・40代】

活動を通じて、新たに地域の皆さんとの繋がりが広がりコミュニティの輪が大きくなりました。また、こうした活動から家庭内でも防火や防災などの話題が自然と増えました。

【宮城地区・60代】



SENDAI WOMAN FIRE PROTECTION CLUB

女性防火クラブ・女性防火クラブ支援メンバー

に関するお問い合わせは各消防署が窓口です。

お気軽にお問い合わせください。

青葉消防署予防課
234-1121(代)

宮城野消防署予防課
284-9211(代)

若林消防署予防課
282-0119(代)

太白消防署予防課
244-1119(代)

泉消防署予防課
373-0119(代)

宮城消防署
392-8119(代)

女性防火クラブ活動事例集

令和5年4月 初版第1刷発行
10月 第2刷発行
令和7年3月 第3刷発行

編集・発行 仙台市女性防火クラブ連絡協議会
仙台市消防局